2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">文章表現</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部英米1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生 教育教福1回生 人間人社1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">新井 由美</p>
<p>授業テーマ</p> <p>「正確な文章」の書き方を学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>電子メールや携帯電話の普及で、文章を使ったコミュニケーション能力は、ますます重要度を増しています。この講義では、こうした社会の実状に即した「正確な文章」を書く能力を養成することを目的とします。ここで言う「正確な文章」とは、読み手の誤解がなく理解が容易な文章を指します。自分の考え方や思いを正確に相手に伝えたい。そんな願いを文章で実現するための能力を習得するのが最終目標です。</p>		
<p>評価方法</p> <p>講義への出席状況（40%）、課題の提出状況（40%）、課題に取り組む姿勢（20%）等を勘案し、総合的に判断します。</p>		
<p>テキスト</p> <p>講義中に配布する、資料・教材等を用います。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1回の講義は概ね次の3部構成となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 言葉のメンテナンス…語彙力、表現力、内容把握力等の正確な表現のための基礎的能力養成のため、練習問題を解いていきます。 b. 前回課題への講評…前回講義での注目作品、優秀作品等を紹介し、文章表現にあたって注意すべき点を指摘します。 c. 課題作成…当日の目標に沿った課題を示し、一定の時間内で指定された字数で表現する能力を実作によって養成します。 <p>以下に、「c. 課題作成」の際に予定する各回の目標を示しておきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回 ガイダンス…分かり易く正確に書く 第2回 文章に必要な要素（5W1H）を確認する。 第3回 「事実」を観察し描写する。 第4回 「事実」を報告する。 第5回 「事実」に対する意見を述べる。 第6回 自分にしか書けないことを書く。 第7回 自己をみつめる（自己客観化）。 第8回 意見の明確な根拠を示す。 第9回 自分と異なる意見に反論する。 第10回 型を利用して書く。構成（何をどんな順番で書くか）に注意する。 第11回 説得力を高める工夫をする。 第12回 推敲・仕上げの重要性に注意する。 第13回 レポート・論文の文章を書く（1）。 第14回 レポート・論文の文章を書く（2）。 第15回 公的な手紙文を書く。 <p>「a. 言葉のメンテナンス」や当日の課題は、日本語文章能力検定協会による日本語文章能力検定試験にそった内容で作成されたものを用います。</p> <p>最終的には、講義受講者がこの検定試験でより上位の級に合格できることを目指します。</p>		